

平成30年8月分「市民の声」一覧

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
8月2日	8月20日	図書館駐車場の料金 沼津市立図書館で沢山本を借りている者です。ひじょうに助かっています。この度お願いがあり書きました。静岡県は、親子読書を推進している県です。子どもと一緒に本を選んだり調べたりしていると、時間が長くなり、そのため車の駐車料金もかかってしまい、腰をすえて勉強ができません。30分無料の現状を、せめて三島の図書館のように2時間まで無料にしてもらえると大変ありがたいです。	図書館駐車場の無料時間につきましては、沼津駅に近いという立地条件などを考慮し、30分無料とさせていただいておりますが、障害のある方や妊娠中の方は無料時間を4時間とし、子育て支援の一環として、未就学児をお連れの方を対象に、夏休み期間を除いた平日に限り無料時間を2時間としております。 一般の方の無料時間を拡大した場合、図書館利用者以外の駐車が増加し、本来の図書館利用者の駐車に支障をきたすとともに、回転率が落ち、常時渋滞の発生が懸念され近隣住民に迷惑をかけることなどが考えられることから、一律に無料時間を延長することは慎重な対応が求められる状況にあります。 限られた台数(62台)の中、近隣の状況や本来の図書館利用者のことなどを考え、開館以来検討をしてきました。なにとぞご理解くださいますようお願いいたします。	図書館
8月6日	8月22日	沼津市健康診査 近年猛暑が続いており、胃の検査など水を飲むことができない検査を夏場にやるのは大変です。 検査期間を12月一杯までにしていただくなど、夏場より冬場に受診できるように配慮願えないでしょうか。 また、ここ何年か院長高齢で産婦人科の個人開業医がどんどん閉院しており、婦人科系の検査を気軽に受診できる病院がありません。 予約制の所も多く、生理不順の人は予約が非常に取りづらいです。 検診車の検診日や検診できる場所をもっと増やしていただけませんか？ 胸部レントゲンの巡回ですが、毎年猛暑の八月で、短時間の巡回とはいえなぜ外出がづらい時間帯に巡回するのかなと思います。(高温注意報の警報が出る時間帯など) 私はパニック障害があり、外出が困難で、できればもう少し涼しい夕方などに巡回していただきたいです。お年寄りもそう思っていると思います。また、新幹線より上の地域にも私の様な疾患を抱えた人や高齢者はいますので、新幹線より上の自治体の公民館も巡回していただきたいです。猛暑なので車で行くにも車が停められない場所だと、徒歩で行くしかありませんが、徒歩でもこの猛暑では辛く思います。 また、サンウェル・農協などで、あちこち受診しに行かなくても婦人科を含めてまとめて受診ができる日も何日か設けていただきたいです。そういう日が設定はされているようですが婦人科が対象外になっているので非常に利用づらいです。 思い切って、会社に行っている人のことなども配慮し、夜間に受診できる措置なども取っていただければ、夏場も涼しく、終業後に受診ができるので受診率も上がるのではないのでしょうか。 ご検討をよろしく願いたします。	本市の実施する健診は、例年6月から10月を健診期間としています。その理由として、11月以降はインフルエンザの流行の可能性があり、医療機関での感染を避けるため医療機関と協議の上、健診期間を10月末日としています。 次に巡回検診車についてですが、市民の皆さまが気軽に受診できる環境づくりの一つとして実施しております。実施にあたっては、会場・受診者数の実績などから現在の巡回場所・回数となっております。また、婦人科検診を含めた総合健診は平成28年度に実施しましたが受診希望者が少なく継続実施には至りませんでした。 また、お勤めされている人も受けやすい環境づくりとして、大半の医療機関が休診となる土曜日の午後、日曜日などに集団健診、検診車とも数日ではありますが実施しております。しかしながら、休日の健診は受診者数が少なく全体の受診率向上にはつながっておりません。 また、夜間の実施につきましては、受診者が見込めないことから本市のみならず他市においてもほとんど実施されていないのが現状です。 まずは、4か月の期間の中でご自身の体調等を考慮し受診していただきますようお願いいたします。今年は例年に比べ特に気温が高い日が続いておりますので、受診の際は体調等確認の上お越しください。 今後とも、効果的な健診の方法について調査・研究し、多くの皆さまに受診していただけるような体制づくりを進めてまいります。	健康づくり課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
8月7日	8月20日	<p>同報無線 同報無線の使用頻度が多すぎると思います。仕事柄、地方に行く事が多いのですが、沼津市の放送量は異常に多いと思います。また、文面が長く主旨が伝わりにくい、本当に必要な危機に関する場合のみにしないと、放送の重要性が薄れ、放送が始まって聞き耳を立てる人が減るのでは無いでしょうか？。特に先日の花火の日程変更については、非常にまどろっこしい放送で聴いて疲れます。全部を伝え様としすぎて、強調しなければいけない事のインパクトが弱い。放送の喋り方や使い方の例を他の市から参考に聞いた方が良くと思います。放送は必要な限りで短く主旨を伝え危機感を分らせる事が大事では無いでしょうか。</p>	<p>沼津市では、市民の皆様地震及び大雨等異常気象に関する情報や、電気、水道、ガス、電話等の事故で市民生活に影響を及ぼす事項に関する情報などを、同報無線により放送しておりますが、その内容について様々な要望をいただくことがあります。</p> <p>同報無線の使用頻度が多すぎるとのご指摘については、7月以降、高温による注意喚起や、大雨に伴う避難準備情報の発令、避難所の開設、夏まつりの開催に関する事など、緊急的にお知らせする情報を連日のように放送しており、放送の頻度が多くなっている状況であります。</p> <p>同報無線により放送する項目や文面につきましては、その必要性を判断し、的確性を考慮した上で、一語一語明瞭で適切な速さ、聞き取りやすい放送を実施し、多くの市民の皆様へ確実に情報をお知らせするよう努めてまいります。</p> <p>同報無線の放送については、今回いただいたご意見をはじめ様々なご意見を伺う中で、よりよいものとなるよう努めてまいります。</p>	危機管理課
8月17日	8月30日	<p>行政財産の管理 沼津市民の森利用者です。 昨年、今年とキャンプで利用させていただいていますが、2年連続バーベキュー炉が使えませんでした。 昨年度は、バーベキュー炉の利用予約を行った後になって、蜂が巣を作っているため駆除処理ができない間は利用できない旨説明され、利用ができませんでした。 今年はバーベキュー炉を利用の2週間前辺りに電話で予約できたので、今年こそはと楽しみにしていましたが、利用の1週間前になって、蜂がいるから利用できない旨説明されました。一緒にキャンプに行こうとしていた家族も非常に残念にし、また、昨年度から対策が進んでいないことへの憤りを感じました。 山の中なので害虫被害があるのは致し方ないことですが、2年連続同じ場所でのこととなると何か対策のしようがあったのではないかと思います。 については、同じ思いをしたのは私だけではないと思いますので3年連続市民を失望させないよう、来年度の行政財産の管理に万全を期していただきたく思います。</p>	<p>平成29年度と平成30年度の2年続けて、バーベキュー場が使用できず、ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。</p> <p>市民の森のバーベキュー場につきましては、平成29年の夏に地蜂が大量発生し、利用者の安全確保のため、使用禁止としました。その際には、地元の方の協力のもと、殺虫剤を散布し、多少の効果があったようで、地蜂の数が減りました。</p> <p>今年度は29年度の状況をふまえ、地蜂の発生後すぐに殺虫剤散布の対応をしましたが、地蜂の猛威が昨年を上回り、全ての地蜂を駆除しきれず、今年度もバーベキュー場を使用禁止とせざるを得ませんでした。</p> <p>効果的な地蜂対策はなかなかありませんが、29年度や30年度のように使用禁止とならないように、早いうちに殺虫剤を散布するなど、発生後の対応だけでなく、発生しないような事前の対策ができないか検討してまいります。</p>	緑地公園課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
8月17日	8月30日	<p>沼津市役所における障害者雇用率 沼津市役所における本年6月1日時点での、障害者雇用促進法上の障害者雇用率の実数は何%でしょうか。 また今後3年における障害者雇用率の目標について、市役所HPにて公表をお願いします。</p>	<p>沼津市役所における本年6月1日時点での障害者雇用率は2.49%です。 障害者雇用率の目標については、厚生労働省の定める地方公共団体の法定雇用率2.5%としております。したがって、これまで特に沼津市HPでの公表等は行ってきておりませんが、検討し、適切に対応してまいります。</p>	人事課
8月27日	9月10日	<p>健康に関するセミナーの活性化 高齢化に伴いがん患者は、年々増加する傾向にあり、静岡がんセンターはがん医療セミナーを無料で毎年7回実施している。 今月、8/18三島市民文化会館で開催されたので受講した。とても良い医療セミナーであった。 このセミナーは三島市、長泉町、裾野市、函南町等近隣市町が協賛し、セミナーを側面から支えている。 しかし、沼津市は協賛に名を連られておらず、寂しい限りです。 沼津市も良いセミナーを無料で企画し市民にアピール、そして、市民の健康を支えて欲しい。少なくとも、良いセミナーには協賛する等積極的に取り組んで欲しい。</p>	<p>静岡がんセンター公開講座(医療セミナー)につきまして、本市は協賛という形ではありませんが、ポスター掲示や申込チラシ配布による周知、広報ぬまづへの掲載などの協力をしているところです。 また、健康づくり課での健康に関するセミナーとして、がん予防講演会を昨年に引き続き今年12月に実施予定です。昨年度は胃がん、今年度は大腸がんをテーマに、静岡県立静岡がんセンターの専門医を講師とした講演会の開催準備を進めております。 さらに、今年度は静岡県立静岡がんセンター開催の「出張がんよろず相談」につきましても、本市での開催が決定しております。現在がんと闘病しておられるがん患者・家族からの相談を専門スタッフが個別で相談を受けるという内容になっております。 2人にひとりのがんになるといわれている中、市としましてもがん予防に力をいれ、無料の講演会を開催しており、今後も、市民の皆さまの健康寿命の延伸を目標にがん対策を始めとする様々な健康に関する事業を積極的に企画実施してまいります。</p>	健康づくり課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
8月27日	9月14日	<p>社会福祉課職員1</p> <p>社会福祉課に生活保護の相談に行き、嫌なことばかりだった。夫ががんになり、以前は働いて蓄えもあったが、夫の治療費や自分も看病等で働けなくなったことから困窮し、病院と相談し、生活保護を受けようとした。担当と話ができると思っていたが、担当となった職員は、病院で医師たちの前で、上から目線で暴言を吐き、大きな声で怒鳴るように一方的に話し、相談できなかった。これからどうしたらよいかわからず、しかし、もう保護の申請はできないと思いやめた。その後、どうにか必死にやりくりしてきたが、夫婦二人で年金が2ヶ月で10万円の生活でどうにもならず、今回再度申請することとした。しかし怖いことと、地下にある社会福祉課に行くことが、何か悪い事でもしていると責められているように入れず、女性相談員に外まで迎えに来てもらった。自分も何とか保護を受けずにやろうと頑張ってきた。それでもどうにもならず、申し訳ないという思いで相談に行ったのだが、そういう気持ちを汲んでほしい。自分のような思いをする人がないように、職員も社会福祉課も温かくなってほしい。</p>	<p>この度は、社会福祉課職員の対応により、不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ございませんでした。ご指摘いただいた内容に対応した職員に伝え、生活保護法に基づく支援を適切にさせていただくためには、相談に来られた方との信頼関係の構築が大切であり、その方の立場や心情をよく理解し、親切丁寧な対応をするよう指導徹底いたしました。</p> <p>また、ケースワーカー(担当者)全体の会議においても、今回いただいたご意見を紹介し、色々な生活課題に直面し、生活に困窮して、さまざまな思いで相談に来られている方のお気持ちに寄り添い、安心して相談できるよう配慮をした対応を、ケースワーカー全員で改めて協議したところです。</p> <p>今後も、今回いただいたご意見を踏まえ、相談に来られた方が話しやすい雰囲気さをさらに高めていけるよう、研修等を通じ職員を指導してまいります。</p>	社会福祉課
8月27日	9月14日	<p>社会福祉課職員2</p> <p>生活保護を申請する人は、保護を受けるしかない状況で仕方なく受けている。できれば抜け出したいと思ってもどうにもならず、勇気を振り絞って申請している。しかし、社会福祉課は地下にあり、それが自分たちは人間以下だと言われているようでつらい。またそこは空気が悪く、換気ができていないだけでなく、異様なにおいがする。気持ちが悪くなる。あれでは職員も気が滅入ってしまうのではないと思う。それもあってか、職員の中には自分のストレスを晴らすかのような対応をする職員がいる。上から目線で大声で怒鳴り「あんた」と呼ぶなど言葉がひどい。そういう対応を聞いているはずの他の職員も、注意をしたり間に入ることも知らんぷりしている。自分には子供がいるが、子供を連れて相談に行かざるをえないが、相談中子供が泣いても知らんぷりで、むしろうるさいという顔をされる。泣いて相談できないような状況でも事務的に話を続ける。ベビーベッドもなく、子供連れでは緊張してしまい行きにくい。</p> <p>入り口に扉があるが、開く音がするので職員が一斉に見るが、声をかけるでもなく上から下へジロジロ見る感じで、すごく嫌だし威圧感がある。伊豆の国市でもお世話になっていたが、あそこでは「こんにちは」「今日はどうしたの」とかこにこしながら声をかけてくれ、沼津のような思いはしなかった。</p> <p>生活保護の担当は毎年替わるが、昨年の担当は特に言葉がひどかった。自分は怒鳴られることはなかったが、人によって態度を変えたり、冷たく見下す態度だと感じ、もう少し話を聞いて欲しいということが多かった。今年の担当は、子供の様子も見たいと家庭訪問してくれた。今までの担当は子供の名前は知っていても、顔は知らないと思う。ハローワークにも同行し、親身に相談のつてくれ、生活保護から抜けたいという思いも聞いてくれてアドバイスしてくれる。伊豆の国市ではこれが普通の対応であったが、沼津で初めて信頼できるワーカーに会った。</p> <p>こういう思いをしているのは自分だけではなく、実際耳にするが、皆、引け目を感じたり勇気がなく声をあげられない。今まで我慢してきたが、少しでも伝えていくことで、職員や社会福祉課の雰囲気が変わってほしいという思いで勇気を出して相談に来た。また職員の為にも、社会福祉課の、地下という場所を変えられなければ、せめて換気はしっかりとできるようにしてほしい。</p>	<p>【社会福祉課回答】 職員対応について</p> <p>この度は、社会福祉課職員の対応により、ご不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ございませんでした。また、貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>当課、窓口においての対応についてご指摘いただきました内容を、ケースワーカー全員の会議において伝え、受給者の方が相談しやすい、丁寧な対応をするともに、窓口に来庁者があった場合は、積極的に声をかけ、お子様連れなどお困りの方がいらっしゃれば親切に対応するよう指導いたしました。</p> <p>また、担当者による対応の違いもご指摘いただき、今年の担当者は信頼できるというお言葉をいただきましたので、ケースワークを行ううえで信頼関係の構築は欠かせないものであることを改めて認識し、生活保護受給中の方のお気持ちに寄り添い、自立に向けての支援を行っていくよう注意したところです。</p> <p>今後も職員全員に対し研修等を行うことによって、相談しやすいと感じていただけるような雰囲気づくりに努めてまいります。</p> <p>【資産活用課回答】 換気について</p> <p>市は、庁舎内の衛生環境について、関係法令に基づき、空気環境の測定を各階で実施しており、地下1階では、社会福祉課内で測定を実施しております。</p> <p>本年度については、8月末現在、2回の測定を実施済みですが、浮遊粉じん量、二酸化炭素濃度など、基準値以内となっており、特に異常はない状況と判断しております。</p> <p>しかしながら、空気環境は、来庁される方の多い時間帯や気象条件等によって変化するため、その状況によっては、空気が悪いと感じられる場合もあるものと考えております。</p> <p>そのため、今後については、社会福祉課内にある空気清浄機を活用するとともに、場合により、換気扇による空気の強制排気を行うことで、来庁される皆様は不快に感じることはない様、衛生環境の確保・向上に努めてまいりますので、ご理解いただきますようお願い致します。</p>	社会福祉課